

朝日新聞

420.9.24

放射性物質が

輸送中に紛失

実験用 大阪—京都で

国土交通省と文部科学省は27日、実験用の放射性物質リン32の液体1ミリリットルが配送中になくなったと発表した。プラスチック容器（直径5・5センチ、高さ8センチ）を、発泡スチロール製容器と段ボール箱で包んでいた。国内で輸送中の放射性物質の紛失は前例がないという。

放射性物質は24日、千葉県市原市の日本アイソトープ協

会の施設から、京都府南丹市の研究機関あてに発送された。大阪空港まで航空輸送され、宅配業者が25日未明、大阪府豊中市の営業所で下請け業者に配送を依頼したところまでは存在を確認しているが、その後行方不明になったという。放射エネルギーは37メガベクレルで、半減期は14・2日。段ボール箱表面の放射線は自然放射線程度という。しかし、のみ込んだ場合は88・8ミリシーベルト被曝する可能性があり、放射線業務従事者の年間被曝線量限度の50ミリシーベルトを超えるという。